

2018 年度後期 授業改善アンケート集計結果に対するコメント  
—大学院全体—

文学研究科長 津上 英輔

この種のアンケートがどれほど真を伝えるものか、疑問無しとしないが、集計結果からは、基本的には例年と同じ傾向が看取され、ほぼ高水準を維持している。「総合的に判断して自分にとって有意義だった」の設問の平均値は 4.82 と、非常に高い評価を受けている。「教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかった」4.87、「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心掛けた」4.81、「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」4.71 といった設問が、4.7 以上の評価を受け、授業が円滑かつ活発に行われている様子がうかがえる。特に、「この分野への興味・関心が引き起こされた」の評価が 4.74、「総合的に判断して自分にとって有意義だった」が 4.82 というきわめて高水準であることは喜ぶべきこととしたい。

以上